

## ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト (JICA/DPUB)

ニュースレター第30号 2019.09

### インターン生紹介 (2019.09.10)



インターン生のムンフエルデネ

こんにちは。9月4日からJICA技術協力プロジェクト「ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト」(DPUB) でインターンシップを行っているモンゴル国立大学日本学科4年生のルハグワビャンバ・ムンフエルデネです。ウランバートル市では障害者のためのアクセシブルな環境が整備されていないことや、「職場も足り

ない」という社会のネガティブな意識や態度が多くあると思います。本プロジェクトに参加し、研修を受けることによって私自身の障害者に対する考え方も変わり、知識も増えていくと思います。この1ヵ月半色々学ぶために一生懸命頑張ります。どうぞ宜しくお願い致します。

**DETファシリテーター (第3期生) 養成講座参加者募集**  
プロジェクトでは、障害平等研修 (DET) ファシリテーター養成講座を以下の日程で開催します。募集要項と申込書はフェイスブックページからダウンロード下さい。応募書類をデータで応募期限までにメールで送信下さい。

実施期間：2019年12月05日～19日 (平日の11日間)

応募書類提出期限：2019年11月01日 (金)

応募資格：

- ・障害のある人で、講座修了後にDETを実施できる人。
- ・DETに参加したことがある人を優先する。

### DET、最新版リリース！ (2019.09.04)

8月末、障害平等研修 (DET) ファシリテーターが集まり、研修会を行いました。目的はDETのアップデート。今回は、特に新しい教材について学びました。DETがモンゴルに導入されてもうすぐ3年。周囲のバリアが障害をつくっていること、バリアを減らして誰でも住みやすい社会になるために行動すること、この目標のため、ファシリテーター達は、新しい内容の導入に取り組んでいます。「このイラスト教材は、障害のある人達がいつも経験している問題場面を表している。ぜひ次の研修で使ってみたい!」、「新しいビデオ教材、今までのビデオよりわかりやすく、映像もきれい。」これからの研修に意欲的なファシリテーター達です。DET、まだ参加していない人、もう参加した人、いずれも最新の研修に参加してみませんか?



フォローアップ研修の様子

## インターンムギーの活動記事 (2019.09.12月)

9月5日。今日は障害平等研修 (DET) の受講者の意識や行動変化についてのインタビュー調査やソンギノハイルハン区の社会保険事務所で見学をしてきました。社会保険事務所のジャルガルサイハン所長に活動紹介をして頂きました。この社会保険事務所は (DET) を受講後に障害者開発



障害者開発センターを案内する  
ジャルガルサイハン所長

センターを設けています。当センターでは障害者の病院労働診断委員会が行われるアクセスブルな環境を整備した以外にも障害者が情報を受けられるよう、各種のイベントを開催しているそうです。インタビューをした方々も障害者とのコミュニケーション、情報提供のために工夫した活動をしていると述べていました。こちらの保険事務所の活動は良い事例になるような素晴らしい活躍でした。障害者開発センターの益々のご活躍をお祈り致します。我々を歓迎して頂いたことにご感謝致します。これからもインターン活動について引き続き報告していきたいと思ひます。

### JICA DPUBのFACEBOOKページに

「いいね」をお願いします。

おかげさまで、今ではページの「いいね」が5557件に達し、より多くの方に情報を発信できるようになりました。これからも、楽しんでいただけるような投稿を目指して頑張ります。引き続き、宜しくお願い致します。

## 実力不足



千葉チーフアドバイザー

APCDでは多くの成果を上げることができましたが、一方で、活動が上手く行かず何度も挫折感を味わいました。障害分野や国際協力に対する知識と経験が絶対的に不足していると感じた5年間でもありました。色んな人に相談し、自分なりに勉強し、なんとか活動は続けられましたが、いまの実力だと、この先もJICA専門家として活動するのは困難だと感じていました。APCDの活動も終わりを迎え、先のことを考えないといけない頃、一旦、JICAから離れようと決心しました。完全なる「実力不足」です。しかしこの先どうするか、国連で働きたいと思って会社を辞めてから、ちょうど10年。もう一度自分の進路について考えるには良い機会でした。幸い、国連でも働くことができ、JICA専門家としても5年間活動ができました。さて今後どうするか、と言っても、もう障害分野で働くしかないのですが。そんな時、APCDの活動を通し知り合ったのが日本財団という組織です。日本財団は、日本で最大の助成団体ですが、途上国の障害者支援事業も実施していました。ここでなら、また違ったアプローチで障害と国際協力の仕事ができる。そう思い、日本財団へ応募しました。

### DPUB連絡先

**Office:** Government Building – 2, United Nation’s Street – 5, Ministry of Labor and Social Protection Ulaanbaatar – 15160, Mongolia

**Facebook:** <https://www.facebook.com/jicadpub>

**Website:** <https://www.jica.go.jp/project/mongolia/015/index.html>

**E-mail:** [dpub.jica@gmail.com](mailto:dpub.jica@gmail.com)